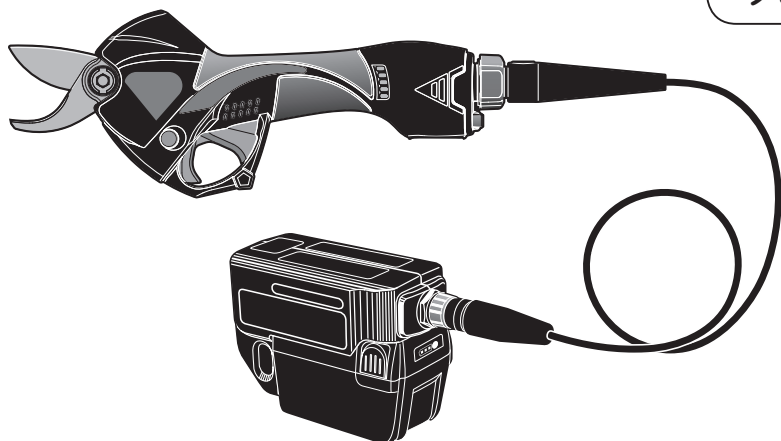


マックス 充電式剪定はさみ

ザクリオ® PA-SJ301

取扱説明書

プロ用



⚠ 警告

この機械は果樹等の枝を切る充電式剪定はさみです。開梱後は本機に触れる前に取扱説明書を読み、本機の機能、構造をご理解した上でご使用ください。

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 不用意に刃に触れない。
- 剪定をする枝を持ちながら切断しない。
- 作業中、移動したり、使用しないときは、刃が閉じていることを確認し、ホルスタに確実に収納する。
- 電池パックの取り付けや交換のときは、必ず電源スイッチを OFF にした状態で行う。
- コントロールボックスと剪定はさみとの接続端子を外す時は、必ず電源スイッチを OFF にすると共に、端子による感電に注意する。
- 接続ケーブルを引っ張りながら剪定はさみやコントロールボックスを移動させない。
- 刃をねじるような切り方をしない。
- 保護メガネを使用する。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックス充電式剪定はさみをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、 **警告**、 **注意**、 **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



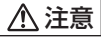
警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意



：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

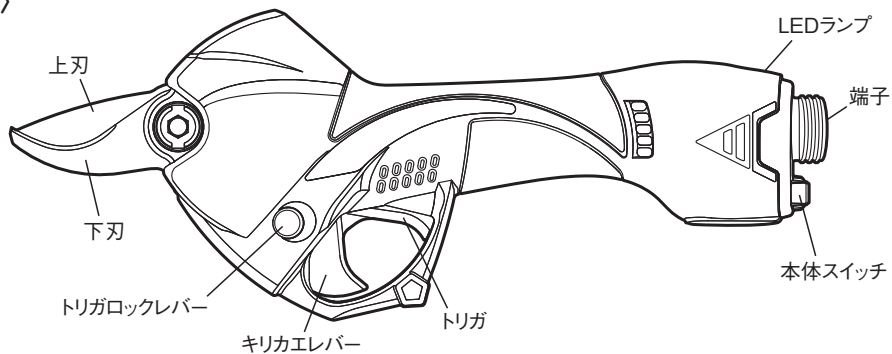
注

：製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なお注意。

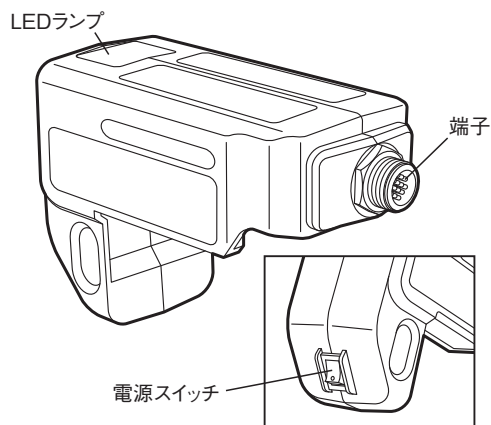
目 次

1. 各部の名称及び標準付属品	1
2.  安全上のご注意	2
3.  充電式剪定はさみの安全上のご注意	8
4. 仕様及び付属品	10
5. 電池パックと充電器の使い方	12
6. 使用方法	21
「細枝モード」⇔「太枝モード」への切り換え方法 ..	29
7. コントロールボックス・本体のランプの見方	34
8. 刃の交換方法	35
9. 性能を維持するために	41
10. 保証、アフターサービスについて	44
操作早見表	45
全国販売拠点、サービス拠点一覧	

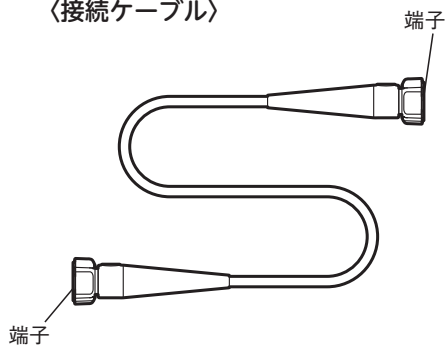
〈本体〉



〈コントロールボックス〉

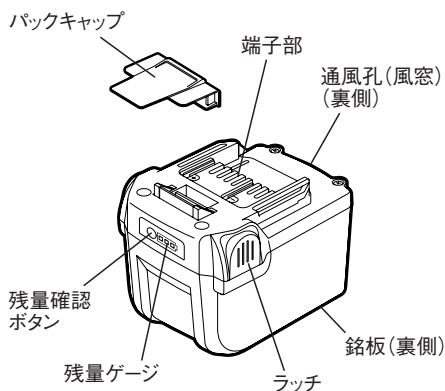


〈接続ケーブル〉



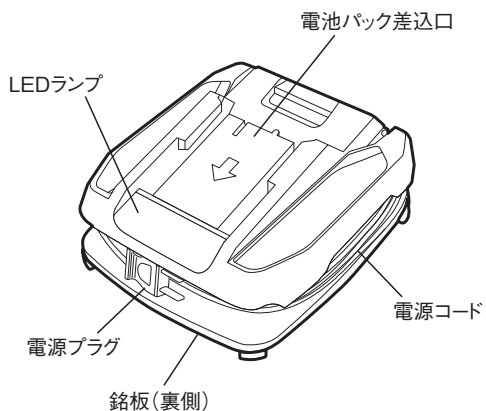
〈電池パック〉

リチウムイオン電池パック (JP-L92540A)



〈充電器〉

リチウムイオン充電器 (JC-925A)



2

▲安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。
- 以下の警告や注意は、充電電動工具に関する一般的な事項です。

▲警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 専用の充電器や電池パックを使用する。

- ・指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
- ・指定した電池パック以外は充電しないでください。
指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱の恐れがあります。

2. 正しく充電する。

- ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
昇圧器などのトランス類、直流電源や、マッチング確認済みの発電機以外では使用しないでください。
充電器の故障の原因や異常発熱により火災の恐れがあります。

<マッチング確認済み機種>

メーカー名	分類名	機種名	定格出力	定格電圧	定格電流
株式会社やまびこ (新ダイワ)	インバータ 発電機	IEG2800M	2.8KVA	单相 100 V	28A
		IEG2801M	2.8KVA	单相 100 V	28A

- ・温度が5℃未満、又は温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- ・充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。

！ 警告

3. **電池パックの端子間を短絡（ショート）させない。**
 - ・ 電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡（ショート）して発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
4. **感電に注意する。**
 - ・ ぬれた手で充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
5. **作業場の周囲状況も考慮する。**
 - ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
6. **保護メガネを使用する。**
 - ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。
7. **保護具を着用する。**
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）など防音保護具を着用してください。
 - ・ 作業時はヘルメット、安全靴などを着用してください。
8. **次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜く。**
 - ・ 使用しない、又は修理する場合。
 - ・ 本機の調整をする場合。
 - ・ 刃物などの付属品を交換する場合。刃を研ぐ場合。刃を点検する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
不意に充電工具が作動して、事故やけがの原因になります。
9. **不意な始動は避ける。**
 - ・ 本体スイッチ及びトリガに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電池パックをコントロールボックスに差し込む前に電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。
不意に充電工具が作動して、事故の原因になります。
10. **指定の付属品を使用する。**
 - ・ この取扱説明書、及び当社カタログに記載されている付属品以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因になります。

▲警告

11. **電池パックを火中に投入しない。**
 - ・ 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。
12. **電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。**
 - ・ 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
 - ・ 液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
 - ・ 液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。
13. **使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。**
14. **充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。**
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
15. **異常を感じたら絶対に使用しない。**
 - ・ 電源スイッチが入らない、作動が止まらない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱へ点検・修理に出してください。そのまま使用を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
16. **充電工具の修理は、専門店で依頼する。**
 - ・ サービスマン以外の方は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
 - ・ 充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
 - ・ 修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス㈱にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

▲ 注意

1. **作業場は、いつもきれいに保つ。**
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. **子供を近づけない。**
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコード、電池パックに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。
3. **使用しない場合は、きちんと保管する。**
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - ・ 充電工具や電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
4. **無理して使用しない。**
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. **作業に合った充電工具を使用する。**
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
 - ・ 充電工具の最大能力（剪定可能枝直径 P10 参照）を超えた作業はしないでください。
けがの原因になります。
6. **きちんとした服装で作業する。**
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、駆動部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

▲ 注意

7. 充電工具は、注意深く手入れをする。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス㈱に修理を依頼してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・充電の際、延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
けがの原因になります。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わない。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

9. 無理な姿勢で作業をしない。

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

10. レンチなどは、必ず取り外す。

- ・電源スイッチを入れる前に、調節に用いたレンチなどの工具類がはさみ本体から取り外してあることを確認してください。付けたままですと、作業時に外れてけがの原因になります。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用する。

- ・屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

▲ 注意

12. 油断しないで十分注意して作業を行う。

- ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 常識を働かせてください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
軽率な行動や非常識な行動などをすると事故やけがの原因になります。

13. 損傷した部品がないか点検する。

- ・ **使用前に、外観やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。**
- ・ 可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・ 使用前に刃の割れ、欠けの無い事を確認してください。
- ・ 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス(株)に修理を依頼してください。
- ・ 電源スイッチで始動、及び停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

14. 本体スイッチが完全に作動するか点検する。

- ・ 電源スイッチを ON にした直後、トリガロックレバーを解除してトリガを引いても刃が動かない事を確認してください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



▲ 充電式剪定はさみの安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式剪定はさみとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

！ 警告

1. 作業直後の刃・切り屑などは熱を持っている可能性があるので触れない。
2. 電源スイッチを入れるとき、刃が切断対象物や他のものに当たっていないことを確認する。
3. 切断する際は、異物が入っていないことを確認する。
4. コントロールボックス電源を ON にしたまま床などに放置したり、はさみ本体をホルスタに収納しない。
5. 作業中、移動したり、使用しないときは、刃が閉じていることを確認し、ホルスタに確実に収納する。
6. 飲酒したときは使用しない。
 - ・ 取り扱いを誤りケガの原因になります。
7. 不用意に刃に触れない。
 - ・ 特に電源スイッチを ON にしているときはケガの原因になります。特に上刃に不用意に触れると裂傷の恐れがあります。
8. 剪定をする枝を持ちながら切断しない。
 - ・ 動作中の切断刃にはさまれ、ケガの原因になります。
9. 引火性や揮発性のあるガソリン・シンナーなどの近くで使用しない。
 - ・ 爆発・火災・発火の原因になります。
10. 本製品を枝を切る用途以外に使用しない。
 - ・ ケガ・故障の原因になります。
11. 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しない。
 - ・ 電波障害により機器の故障・誤動作の原因になります。ペースメーカーを装着されている方は本製品を使用しないでください。
12. 接続ケーブルを引っ張りながら剪定はさみやコントロールボックスを移動させない。
 - ・ 接続ケーブルや接続端子が破損し、感電の恐れがあります。
13. 厚い手袋で使用しない。
 - ・ 厚い手袋で使用した場合、誤作動の原因になります。
14. 充電中、充電器に、毛布など熱がこもるものをかぶせたりしない。
 - ・ 電池パックの発火などにより、火災・故障の原因になります。
15. 電源プラグや電池の端子、接続ケーブルの端子はほこりやチリ等が付着していないか確認し、根元まで確実に差し込む。
16. 刃をねじるような切り方をしない。
 - ・ 本体や刃部が破損する原因になるとときがあります。また枝に刃が食いついたときも無理にこじらないで、トリガをはなしてください。それでも食いついているときは、本体を左右に動かさないように、本体を上下にゆっくり動かし、徐々に枝からはずしてください。



⚠ 充電式剪定はさみの安全上のご注意

⚠ 警告

17. 接続ケーブルを切断しない。
 - ・ 誤って切断してしまった時は、すぐに電源スイッチを切り、切断面を触らないように接続ケーブルを本体とコントロールボックスからはずし、お買い求めになった販売店、又はマックスエンジニアリングサービス(株)へ接続ケーブル・本体・コントロールボックス・電池パックをセットで修理に出してください。
 - ・ 接続ケーブルを切断した場合、本体やコントロールボックスの基板が故障する恐れがあります。
18. 火のそばやストーブのそば、夏場の車の中など、40℃以上の高温の場所で電池パックを使用、放置しない。
19. コントロールボックスと剪定はさみとの接続端子を外す時は、必ず電源スイッチを OFF にすると共に、端子による感電に注意する。
20. 電池パックの取り付けや交換のときは、必ず電源スイッチをOFFにした状態で行う。
 - ・ ケガ・故障の原因になります。
21. 電池パックの外観に異常（膨らみ、破れ、悪臭、液モレ、煙の発生など）がある場合は、絶対に使用しない。
 - ・ 破裂・火災・発火の原因になります。電池パックから漏れた液が皮膚や衣類に付着した場合は、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちにきれいな水で洗い流して、医師に相談してください。
22. 電池パックを使用しない時は、必ずパックキャップを かぶせる。
23. 刃が欠けている場合は、新しい刃に 交換する。
24. ホルスタが破損している場合は、直ちにホルスタの 使用をやめ、新しいホルスタに交換する。
 - ・ ホルスタから刃が飛び出し、ケガの原因になります。

⚠ 注意

1. 切り落とし材に十分注意する。
2. モーターが頻繁にロックするような無理な使い方をしない。
 - ・ モーターが発熱し、故障の原因になるとことがあります。
3. テレビやラジオの近くで 使用しない。
 - ・ 電波傷害を与えることがあります。
4. 長期間使用しない場合は6 ヶ月に1 回程度充電を行う。
 - ・ 使用していなくても電池パックは自己放電しています。必ず6 ヶ月に1 回程度充電を行ってください。

4 仕様及び付属品

〈本体〉

商 品 名	マックス 充電式剪定はさみ
商 品 記 号	PA-SJ301
剪 定 可 能 枝 直 径	太枝モード時：φ30mm ※枝や電池残量の状況によっては切れない 細枝モード時：φ20mm 場合があります。
モ ー タ	ブラシレスDCモータ
電 池 パ ッ ク	リチウムイオン電池 JP-L92540A
モ ー タ 電 圧	DC 25.2V
本 体 寸 法	(L) 321mm × (H) 124mm × (W) 55mm
質 量	0.78kg

〈充電器〉

商 品 名	マックス リチウムイオン充電器
商 品 記 号	JC-925A
電 源 (入 力)	AC 100V 50/60Hz 220VA
充電電圧 / 電流 (出力)	DC 14.4V/4.0A DC 18V/4.0A DC 25.2V/2.8A
質 量	0.7kg
使用温度範囲	5℃～40℃

〈電池パック〉

商 品 名	マックス リチウムイオン電池パック
商 品 記 号	JP-L92540A
電 池 種 類	リチウムイオン電池
電 圧	DC 25.2V
公 称 容 量 (定格容量)	4.0Ah (3.9Ah)
充 電 時 間 (周囲温度 25℃時) (充電器 JC-925A使用)	実用充電 約70分 満充電 約80分
付 属 品	パックキャップ〔短絡(ショート)防止用〕
質 量	0.9kg

〈コントロールボックス〉

名 称	25.2V電池パック用コントロールボックス
入 力 電 圧	DC 25.2V
対 応 電 池	JP-L92540A
質 量	0.35kg

〈標準付属品〉

- JP-L92540A (電池) 1 個 ● JC-925A (充電器) 1 台
- コントロールボックス 1 台 ● 接続ケーブル 1 本 ● リュック 1 個
- ホルスタ 1 個 ● 六角レンチ 2.5 1 個 ● 専用工具 1 個 ● 保護メガネ 1 個
- 取扱説明書 1 冊 保証書 1 枚 ● 砥石 1 個

〈主な用途〉

- 果樹等の剪定作業

・ 上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

5 電池パックと充電器の使い方

⚠ 警告

- 指定電圧で充電する。
必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。
- 昇圧器などのトランス類、直流電源や指定以外の発電機では使用しない。
故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- 正常なコンセントを使う。
充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

充電方法

お買い上げ時の電池パックについて

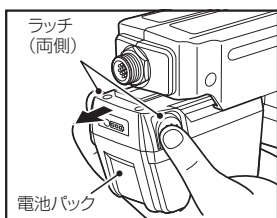
お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

⚠ 警告

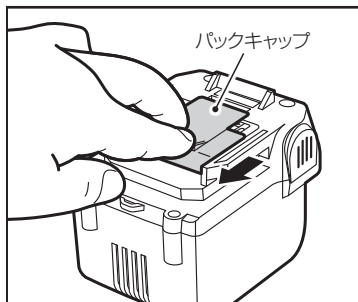
- お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、工具に取付け、スイッチ操作すると作動するおそれがあるので注意する。
- 電池パックを工具に取付け、取外しをするときは、スイッチをOFFにした状態で行う。

一度使用されて電池パックを工具に取付けている場合

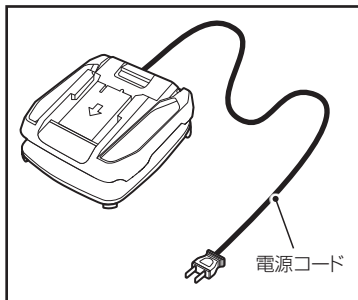
工具より電池パックを取外します。
(P20 電池パックの取り外し方 参照)

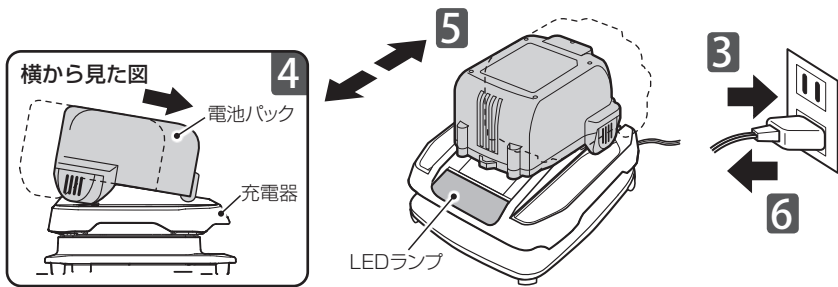


- 1 電池パックの端子部にかぶせてある短絡(ショート)防止用のパックキャップを外してください。



- 2 充電器に巻いてある電源コードを丁寧に伸ばしてください。



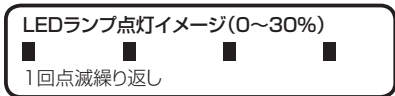


3 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。LEDランプが1秒間点灯し、通電状態をお知らせします。

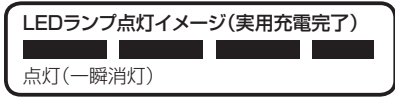


4 電池パックを充電してください。
 ①電池パックを充電器の電池パック装着口の奥にあたりカチッというまでしっかりとスライドさせます。このとき、電池パックのラッチが充電器にしっかり掛かっていることを確認してください。

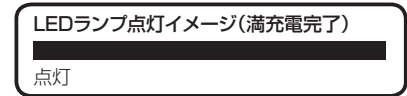
②電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。充電を開始すると、充電済みの容量に応じてLEDランプが下の3パターンで点滅します。



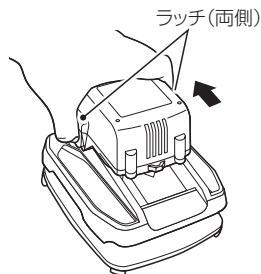
③LEDランプが下の表示に変わったら実用充電完了です。この状態で電池パックの容量の約80%充電されています。(充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。)



実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでくと、残りの容量を充電し続け、LEDランプが点灯になれば満充電完了(容量の約100%)です。



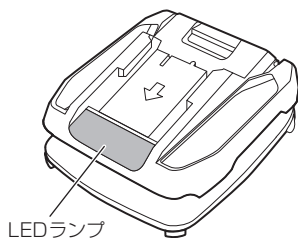
5 充電が完了したら、ラッチを押しながらか電池パックを充電器から抜き取ってください。











6 電源プラグをコンセントから抜いてください。

充電時のLEDランプ表示について

本機では、本体正面の大型LEDランプにて、以下の9種類の充電状態を表します。



	LEDランプ	状態	内容
①	 1秒点灯	充電器通電	電源プラグをコンセントに差し、充電準備ができました。
②	(消灯)	待機中	
③	 1回点滅繰り返し	充電中	容量の約0~30%の充電が完了しました。
④	 2回点滅繰り返し	充電中	容量の約30%の充電が完了しました。
⑤	 3回点滅繰り返し	充電中	容量の約50%の充電が完了しました。
⑥	 点灯(一瞬消灯)	実用充電完了	容量の約80%の充電が完了しました。 ご使用いただけます。
⑦	 点灯	満充電完了	満充電が完了しました。
⑧	 明暗繰り返し	温度待機中	電池パックが低温または高温のため、充電待機中です(充電していません)。
⑨	 点滅繰り返し	充電エラー	電池パック、または充電器に異常があります。

注意

⑧の「温度待機中」が表示された場合

電池パックが高温の場合

電池パックが熱を持っているとき(例: 工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たるところに長時間放置した後など)は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。使用しないで放置したり日陰に置くなどして電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合

電池パックが低温(5℃未満)の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所に置くなどして電池パックの温度が上がると、自動的に充電がスタートします。

⑨の「充電エラー」が表示された場合

充電できない状態です。

- ・この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか、また濡れていないか確認してください。もし異物が入っていたり濡れていたりした場合には、柔らかい布等でふき取ってください。
- ・LEDランプが点滅し続けるときは、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックが充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試しください。
- ・それでもLEDランプが点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。決してご自分で修理なさらず、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

電池パックをセットしても③～⑨の表示にならない場合

電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません(LEDランプも点灯しません)。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないだり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

その他の注意事項

- ・満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再び③～⑥の表示になることがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の⑦の表示になります。
- ・充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなることがあります。
- ・電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- ・一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を5分以上休ませてください。

充電時の故障について

次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理なさらず、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

- ・充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差込んでも、「充電器通電」の表示にならない。
- ・電池パックをセットしても、充電を開始しない。
- ・「温度待機中」の表示後、温度環境を改善して1時間以上たっても充電を開始しない。
- ・充電を開始して4時間以上経過しても「実用充電完了」または「満充電完了」に切り替わらない。

壁掛けについて

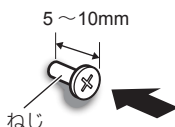
本機は壁に掛けて使用することができます。

⚠ 注意

本機や電池パックの落下を防ぐために、以下を必ず守る。

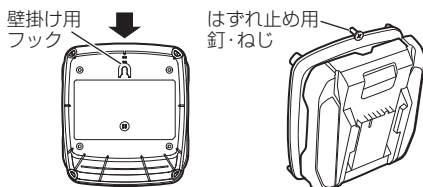
- ・壁掛け用のねじ・釘は、抜けたり曲がったりしないよう注意してください。柔らかい部材や不安定な部材に留め付けたり、細すぎるねじ・釘を使用すると、本機が落下しけがや事故の原因となります。
- ・本体のはずれ止め用に、掛け部とは別にもう1本のねじ・釘を使用してください。
- ・はずれ止め用ねじ・釘を取付ける場合、電源コードに傷をつけないよう注意してください。
- ・電池パックはロックされるまでしっかりとセットしてください。
- ・電池パックの抜き差しは、必ず両手で行ってください。
- ・電源コードを引っ掛けないように注意して配線してください。

- 1** 掛ける部材にねじ・釘を5~10mm程度浮かせて留めつけてください。



使用釘・ねじ	長さ
N・CN釘	65~90mm
コーススレッドねじ	41~90mm

- 2** 留め付けた釘・ねじに、本体裏側の壁掛け用フックを掛け、その後にはずれ止め用の釘・ねじを追加して留め付けます。



- 3** 電池パックのセット時には必ず電池パックのラッチがロックされるまでしっかりと奥まで差込んでください。また抜き差しは必ず両手で行ってください。



電源コードの巻き付け収納について

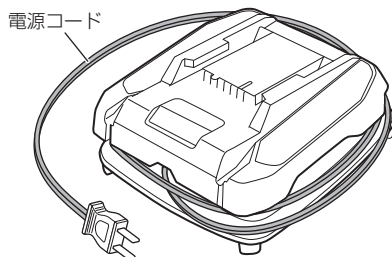
本機は電源コードを本体に巻きつけて保管することができます。

⚠ 注意

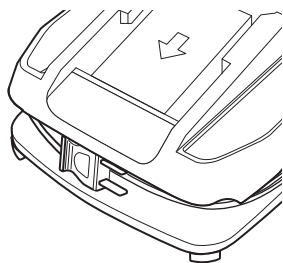
電源コードを乱暴に扱わない。

- ・電源コードを持って充電器を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜いたり、巻き取ったコードを無理に引っ張ってほどこないでください。
- ・電源コードを熱・油・角のつがったところに近づけないでください。
- ・電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- ・充電器を充電工具のケースへ収納する際には、はさみ込みに注意してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。

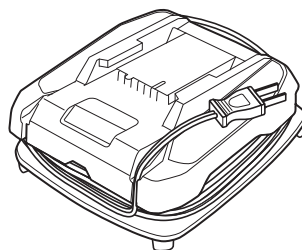
- 1** 本体側面の溝に沿って電源コードを巻きつけてください。その際に無理に電源コードを引っ張ったりしないでください。



- 2** 電源プラグおよび電源コードの固定方法は2通りあります。巻き取った際の電源プラグの位置によって、お好みの方法で固定して収納してください。



本体前面の奥のスペースに入り込ませる

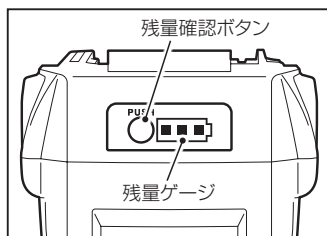


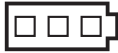




本体背面の電源コード固定部を通す

電池残量表示について

本機は充電中と充電工具の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。

- ①電池残量を確認したい時（充電中または充電工具運転中以外）に、残量確認ボタンを押してください。
- ②その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。



	電池残量 0%	電池残量 約0~10%	電池残量 約10~40%	電池残量 約40~70%	電池残量 約70~100%
電池残量の表示方法	 全て消灯	 1個 点滅	 1個 点灯	 2個 点灯	 3個 点灯

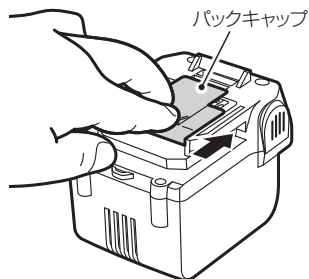
ご注意

- 充電中や充電終了直後、充電工具の運転中は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。
- 残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。
- 表示される残量表示は、残量表示機能のある機械側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。
- 表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。

電池パックを長持ちさせるために(保管方法)

⚠ 警告

- 使用後は、本機から電池パックを取り外し、短絡(ショート)防止用のパックキャップを電池パック端子部にかぶせて保管する。



ご注意

- 工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電してください。
すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電してください。
無理して使いつづけると電池パックが傷み、寿命が短くなります。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しないでください。
高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃～30℃の乾燥した暗所です。
- 使い切った状態のまま電池パックを保管しないでください。
充電が空の状態でも長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。
使い終わったらすぐ充電してください。
- 電池パックを本機や充電器に装着したまま保管しないでください。
微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておくと過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

電池パックの寿命について

正しく充電しても打込み本数が著しく低下した場合には、電池寿命がきたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

- 必ずパックキャップをかぶせる。
- リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
- リチウムイオン電池同梱製品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
- 輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄のマックス販売拠点・マックスエンジニアリングサービス(株)へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

- 電池パックは短絡(ショート)防止のため、端子部(金属部)に必ずパックキャップをかぶせ(絶縁テープを巻いて)リサイクルに出す。

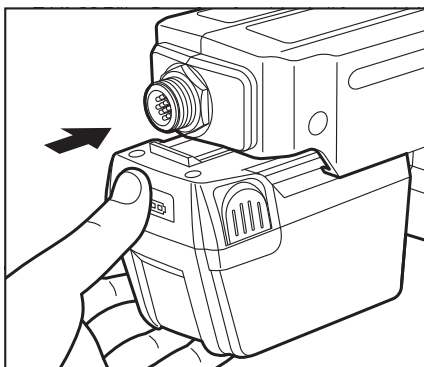


Li-ion
リチウムイオン
電池はリサイクルへ

⚠ 警告

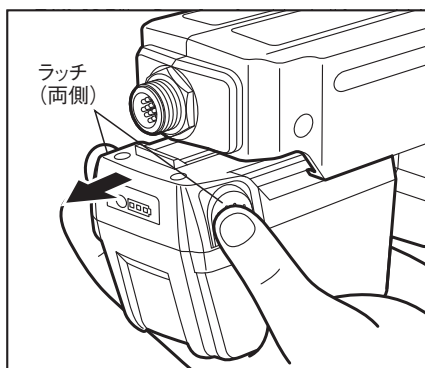
- 電池パックを本機に取り付け、取り外しをする際は、本機の正逆転切替スイッチが中間の位置に合っていることを確認し、無段変速トリガスイッチに指をかけない。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取り付けられていることを必ず確認する。不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどする恐れがあります。

取り付けは、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込み、ラッチが戻るのを確認してください。



電池パックを本機から取り外すときは、

- ①電池パックを本体側に少し押し込んでから、
- ②左右両側にあるラッチを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。

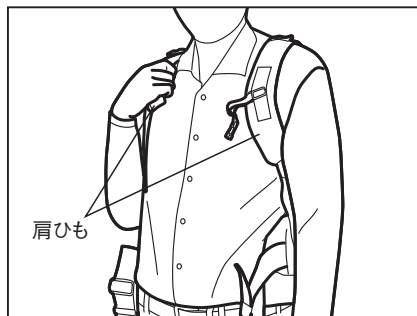


6 使用方法

1) 使用前準備

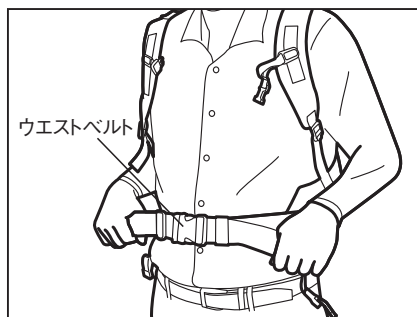
①リュックの肩ひもに腕を通す

電池パックを入れていない状態で、肩ひもに両腕を通してください。



②ウエストベルトを調整し、とめる

ウエストベルトを左右に引っ張ってちょうど良い長さに調整してください。



③肩ひもを調整する

肩ひもをちょうど良い長さに調整してください。調整箇所は体の前側にあります。



④胸ベルトを調整し、とめる

胸ベルトをちょうど良い長さに調整しバックルでとめてください。



⑤一旦リュックをおろす

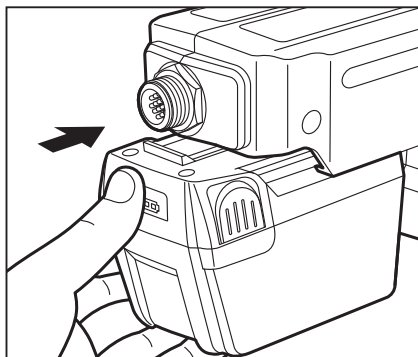
調整が終わったら、一旦リュックをおろしてください。

⑥電池パックをコントロールボックスに取り付ける

⚠ 警告

- 電池パックをコントロールボックスに取り付ける時は、コントロールボックスの電源スイッチが OFF になっていることを確認する。
- 使用前には、電池パックが確実に取り付けられていることを必ず確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどする恐れがあります。

取り付けは、電池パックの溝をコントロールボックスの溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



リュックのファスナーを開け、接続ケーブルの端子の一方を、リュックの穴に通してください。

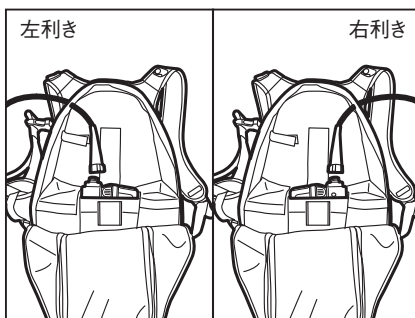
※リュックの穴には、右利き用と左利き用の穴があります。お客様の利き腕に従った穴に通してください。



2) 装着方法

①電池パックを取り付け、電池パックを取り付けたコントロールボックスを、利き腕の方向を間違えないようにリュックに収納する

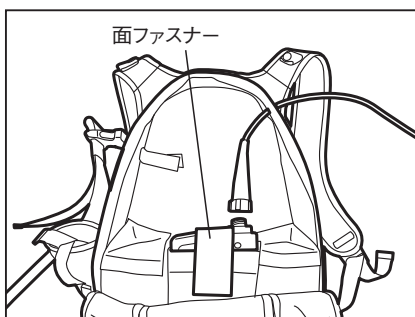
※コントロールボックスの端子を上に向け、利き腕側にLEDがある面が来るように収納してください。



②リュックのコントロールボックス収納部を面ファスナーでしっかりとめる。

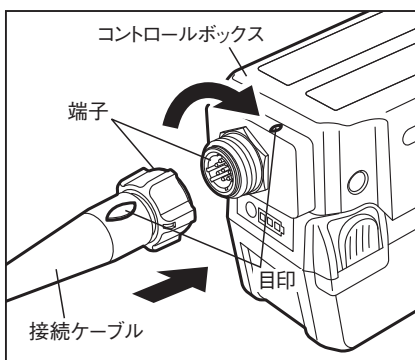
⚠ 警告

- リュックの面ファスナーは確実にとめる。
確実にとまっていないと、コントロールボックスの落下等で、機械破損・怪我の恐れがあります。



③接続ケーブル側の端子をコントロールボックスの端子に接続し、接続ケーブル側の端子についているネジを右に回して確実に接続してください。

※端子には凸、凹の部分があります。勘合するように接続してください。(目印を合わせてください)



⚠ 警告

- 接続ケーブルの端子に手を触れない。
感電の恐れがあります。
- コントロールボックスの端子に手を触れない。
感電の恐れがあります。

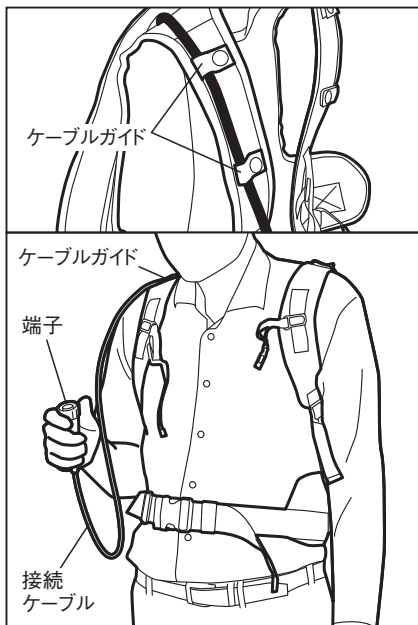
⚠ 注意

- 接続ケーブルとコントロールボックスの端子を確実に接続してください。
機械破損の恐れがあります。

④リュックのファスナーをしめる。

⑤リュックの着用

リュックの穴から出ている接続ケーブルをケーブルガイドに通してください。ケーブルガイドに通す際、接続ケーブルの端子には触れないようご注意ください。
その後、リュックサックを背負う要領でリュックを背負ってください。

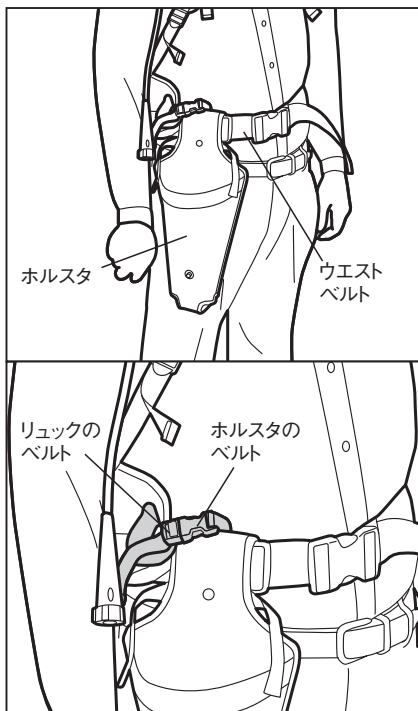


ホルスタをウエストベルトに差し込み、ウエストベルト・胸ベルトをバックルでとめてください。

※ホルスタの落下防止のため、ホルスタのベルトと、リュックのベルトのバックルをしっかりとめてください。

リュックの他に市販のウエスト袋を着用する際は、リュックの下面がウエスト袋のベルト上面の高さになる様調整するとリュックの着脱がスムーズに行なえます。

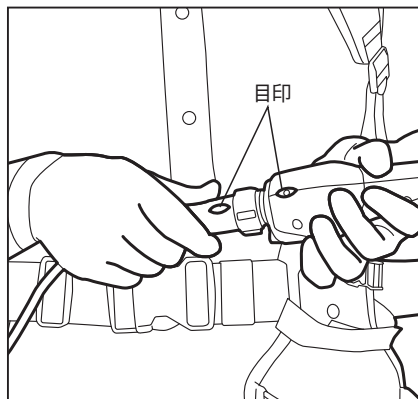
※接続ケーブルが、身体と電池パックの肩ひもの間に入らないよう、注意してください。



⑥本体と接続ケーブルを接続する

本体の端子に、接続ケーブルの端子を差込み、ネジを右に回して確実に接続してください。

※コントロールボックスの接続時と同様に、接続ケーブルと本体の端子の凹凸を合わせて差し込んでください。(接続ケーブルの目印と、本体のLEDを合わせてください)

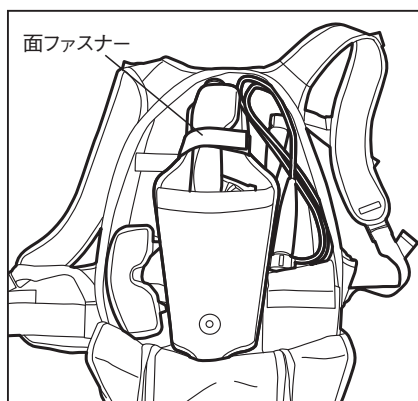


⚠ 注意

●接続ケーブルと本体の端子を確実に接続してください。

機械破損の恐れがあります。

※持ち運びの際、リュックにはさみを収納するときは、必ず接続ケーブルを外し、はさみをホルスタに収納し、ホルスタの面ファスナーではさみのグリップを固定してリュックに入れてください。



⚠ 警告

●はさみをリュックに入れるときは、必ずホルスタに収納された状態にする。

ホルスタに収納していないと、リュックを刃が突き破って怪我をする恐れがあります。

注意

- 本品は充電式剪定はさみの専用のリュックとして作られています。他の目的で使用しないでください。
- 防水性能は備えていませんので水に濡れない様にしてください。
- リュック内部に飲料など液体の入った容器を入れないでください。
コントロールボックスやバッテリーが濡れて故障の原因となります。
- 火に近づけないでください。
- シンナー・ベンジンなど有機溶剤のそばに保管しないでください。
- 使用後はコントロールボックスからバッテリーを外してください。
- リュック内には、充電式剪定はさみの備品以外の小物を入れないでください。

3) 操作方法

⚠ 警告

コントロールボックスの電源を入れる前に…

- トリガを引き、トリガを離したときトリガが元に戻ることを確認する。

トリガが正しく作動しないと、事故の恐れがあります。

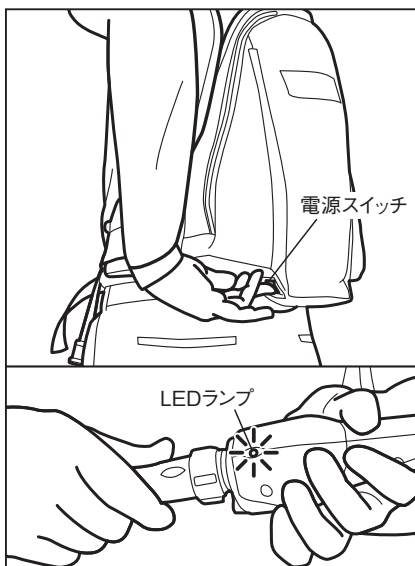
- 本体スイッチを押して元に戻ることを確認する。

①コントロールボックスの電源スイッチを ON にする

※ON にすると、

はさみ本体のLEDランプが緑色で点灯します。同時にコントロールボックス上面にあるLEDランプが緑色で1～3個点灯します。

- ・緑色の3つのLEDランプの点灯は電池残量を表しています。3個で充分電池残量があります。緑色LEDランプが1つで点滅していたら充電してください。

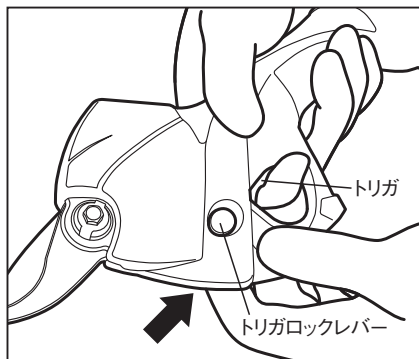


●はさみ本体のLEDランプが緑色で点灯しているが、ブザーが鳴り続けていたら…

何らかのトラブルがおきています。コントロールボックス側のLEDランプで、トラブルの内容を確認してください。

- ・コントロールボックス側の赤色のLEDランプが、1個・もしくは複数個で点灯・点滅している場合は何らかのトラブルがおきています。トラブルの内容は赤色LEDランプの点灯・点滅パターンで確認できます。P34「7. コントロールボックス・本体のランプの見方」でパターンを解説していますのでご参照ください。

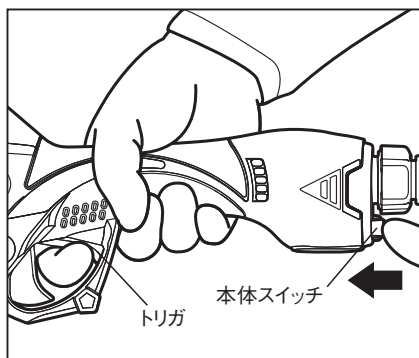
- ②はさみ本体のトリガロックレバーを解除する
刃が閉じている、開いているときにかかわらず、
トリガを引いた状態で、トリガロックレバーを矢
印の方向に押し解除してください。



- ③トリガを引いた状態で保持し、本体スイッチ
を1回押す

本体スイッチを押すと“ピッ”とブザー音が鳴
ります。トリガをはなして刃が開けば、スタン
バイモードが解除され、使用準備完了です。

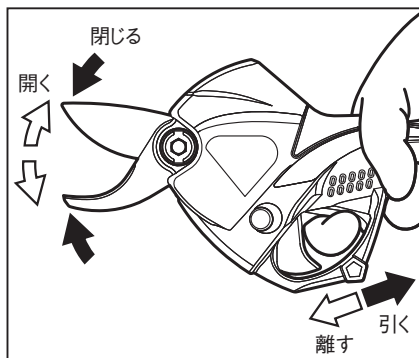
- ※スタンバイモードとは…トリガを引いても
刃が動かないモードです。



※トリガを引いていると刃が開きません。本体スイッチを押した後は、トリガを1度
はなしてください。

※もう1度スタンバイモードに戻すには…トリガを引いたまま、本体スイッチを1回
押すと“ピッ”とブザーが鳴り、スタンバイモードに戻ります。

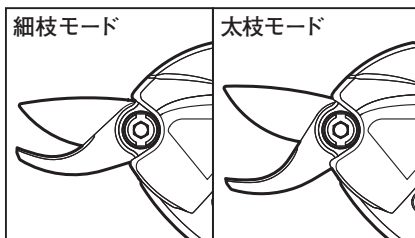
- ④トリガを引くと刃は閉じる方向に動きます。
トリガを引き続けると閉じきった位置で停止
します。
トリガを離すと刃は開く方向に動き、開き
きった位置で停止します。
刃はトリガの引き量に応じて開いたり閉じたり
します。



4) 「細枝モード」⇔「太枝モード」への切り換え方法

●細枝モードとは？

- ・太枝モードでは直径 30mm までの枝が刃の間に入りますが、細枝モードは直径 20mm までの枝が刃の間に入るモードです。
- ・枝が混み合って狭いところや、細い枝を連続で切る場合に適しています。



⚠ 警告

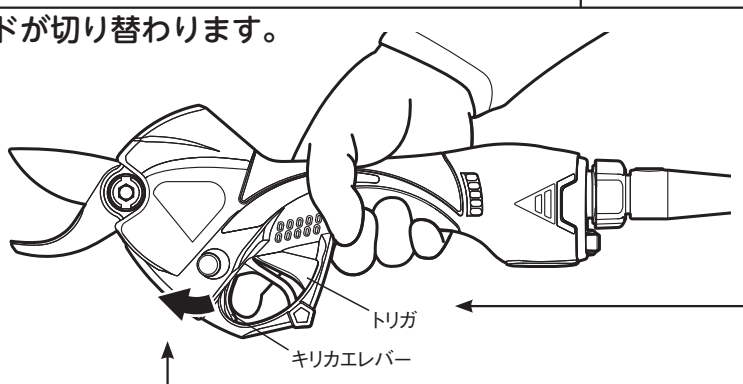
●下記の切り替え操作の途中で、**刃が動作します。**

刃の動きに注意してください。

■切り替え操作（スタンバイモードを解除してから行います：28 ページ参照）

1. 「**キリカエレバー**」を矢印の方向へ押しやります。

2. 「**トリガ**」を切断時と同じように 1 回引き、「**トリガ**」を戻すとモードが切り替わります。



■上記操作の注意事項

※ 刃が閉じるので注意してください。

- ・“ピー”と鳴ると細枝モード、“ピッピー”と鳴ると太枝モードに切り替わった合図です。
- ・鳴らない場合は、トリガから指をはなし、1. からやり直してください。

※ うまく切り替えできない場合は・・・

■キリカエレバーの押しやりが浅くありませんか？

■ブザーが鳴った後にトリガを 1 回引きましたか？

トリガを引いて刃が 1 回閉じた後に角度が切り替わります。

前ページの操作をすることで、刃の開き角度を「細枝モード」と「太枝モード」に切り替えることができます。

操作をする度に、太枝モードからは細枝モードに、細枝モードからは太枝モードに切り替わります。

※ただし、モード（細枝モード、太枝モード）に関係なく、電源 OFF（オートパワー OFF 時も含む）後の再電源投入時は、太枝モードに、スタンバイ状態からの復帰時には、直前のモードになります。

●太枝モードに固定したい場合は・・・

- a) トリガを 5 回すばやく引いてください。(スタンバイモード時)
- b) はさみ本体から接続ケーブルを外してください。
- c) コントロールボックスから“ピー”とブザー音がしたら電源を切ってください。
- d) P27～P28 の操作をしてください。

→ a～d の操作が完了すると、刃の開き角度モード切替の操作を行っても細枝モードにならず、太枝モードのままとなります。

※ 初期状態に戻す場合は同様に a～d の手順を行ってください。

5) ホルスタへのはさみの収納方法

必ず刃が閉じた状態で収納してください。

刃が閉じた状態にするには次の方法があります。

いずれかの操作をしてください。

- トリガを引いた状態で本体スイッチを1回押す。
- トリガを引いた状態でトリガロックレバーをロックする。
- トリガを引いた状態で電源をOFFにする。



⚠ 警告

- ホルスタにはさみ本体を収納するときは、必ず刃を閉じた状態にする。

刃が開いた状態で収納すると、ケガやホルスタの破損の恐れがあります。

- ホルスタが破損している場合は、直ちにホルスタの使用をやめ、新しいホルスタに交換する。

ホルスタから刃が飛び出し、ケガの原因になります。



※トリガロックを解除するには、トリガを引いた状態でトリガロックレバーを解除してください。

※スタンバイモードを解除するには、トリガを引いた状態で本体スイッチを1回押して、スタンバイモードを解除してください。

6) 剪定方法

⚠ 警告

●不安定な姿勢で剪定作業をしない。

事故の原因になります。

●剪定しようとしている枝を手で保持して切断しない。

けがの原因となります。

●厚い手袋で使用しない。

厚い手袋で使用した場合、誤作動の原因になります。

●保護メガネを使用する。

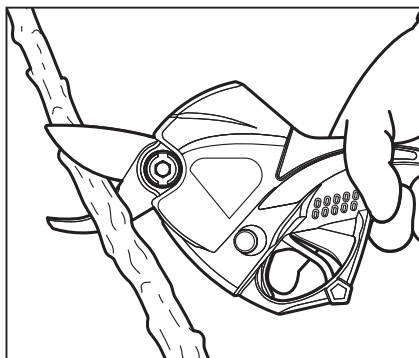
作業時は、保護メガネを使用してください。飛散する切りくずが目に入る可能性があります。

1本ずつ上下の刃の間に枝をはさんで剪定してください。

(切断できる枝の最大太さは太枝モードで直径約30mmまで、細枝モードで直径約20mmまでです。)

※電池残量が少ない場合、切断できない場合があります。

※乾いた枝や木の種類によっては、切断できない場合もあります。



作業中断の際は、はさみの刃を閉じた状態で、トリガロックレバーをロックさせるか、スタンバイモードにするか、コントロールボックスの電源スイッチを切って、はさみ本体をホルスタに収納してください。

※はさみを5分間使用しないと、自動的にスタンバイモードになります。作業再開時は、トリガロックレバーをロックしている場合は、トリガロックレバーを解除してください。その後、トリガを引きながら、本体スイッチを押し、スタンバイモードを解除したら剪定作業を行えます。

※はさみを60分間使用しないと、自動的に電源OFFとなります。(オートパワーOFF機能)

作業再開時はコントロールボックスの電源スイッチを一度入れ直してください。その後スタンバイモードを解除したら剪定作業を行えます。

作業終了後は、はさみの刃を閉じた状態でコントロールボックスの電源スイッチを切り、電池パックをコントロールボックスから取り外し、電池パックにパックキャップを取り付けた上で高温にならない乾燥した、お子様の手が届かない場所に保管してください。

◆モータ保護機能

モータが高温になると、機械が動かなくなる回路を搭載しています。

ご使用を中断し、電源スイッチを切って、モータが冷えるまでお待ちいただき、作業を再開してください。

●モータが高温になった事が原因の機械停止のLED表示

ブザーと共に、コントロールボックスの3つのランプのうち、両端が赤色で点滅・真ん中は消灯でお知らせします。

コントロールボックス LED



⚠ 注意

●モータ保護機能が頻繁に作動するような使い方はしないでください。

発熱やモータの故障の原因となります。

●モータが冷えてもモータ高温エラー表示が消えない場合、接続ケーブルが確実に接続されているか確認してください。

7) 枝に刃がかみこんでしまった場合の対処方法

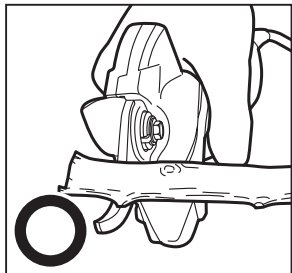
刃が枝にかみこんでしまった場合（切断動作で切断し切れなかった場合）は、トリガをはなしてください。トリガをはなすと刃は開く方向に動きます。

トリガをはなしても刃が枝にかみこんでいる場合は、トリガをはなした状態で、絶対に本体を横に動かさずに、ゆっくり上下に動かして枝から外してください。

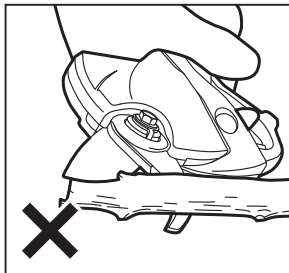
⚠ 警告

●刃の破損・飛散による失明などの重大なけがを招く恐れがあります。

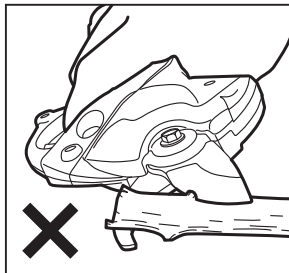
トリガが破損したり刃を押しつぶす可能性がありますので、刃を横に動かさないでください。



〈正しい使い方〉



〈刃の破損を招く切断中の横方向の動き〉



7

コントロールボックス・本体のランプの見方

【コントロールボックスのランプ】

通常時（ランプは緑色）

	通常（緑色）			機械停止（緑色）
ランプの状態 ●：点灯 ◐：点滅 ○：消灯				
表示内容	電池満タン	電池残量中	電池残量少	電池残量なし
対処方法	機械をご使用ください。 電池残量が少ないと切断できない事があります。			充電してください。

エラーまたは故障発生時（ランプは赤色）

	エラー（赤色）			
ランプの状態 ●：点灯 ◐：点滅 ○：消灯				
エラー	モータ高温	本体刃ロック	ケーブル接続不良	機械保護
表示内容	本体モータが高温です	切断中に刃がロックしました	はさみに電源がきていません	その他のトラブルがあります
対処方法	機械の使用を中断して本体モータが冷えるまで待ち、使用を再開してください。モータが冷えてもモータ高温エラー表示が消えない場合、接続ケーブルが確実に接続されているか確認してください。	トリガをはなして刃を開いてください。それでも枝に刃がかみこんでいる場合は、本体を横に動かさず、ゆっくり上下に動かして枝から外してください。	電源を切り、接続ケーブル端子の接続を確認して電源を入れてください。表示が消えない場合は、故障です。	電源を入れ直してください。表示が消えない場合は、ご購入の販売店、またはマックスエンジニアリングサービス(株)までご相談ください。

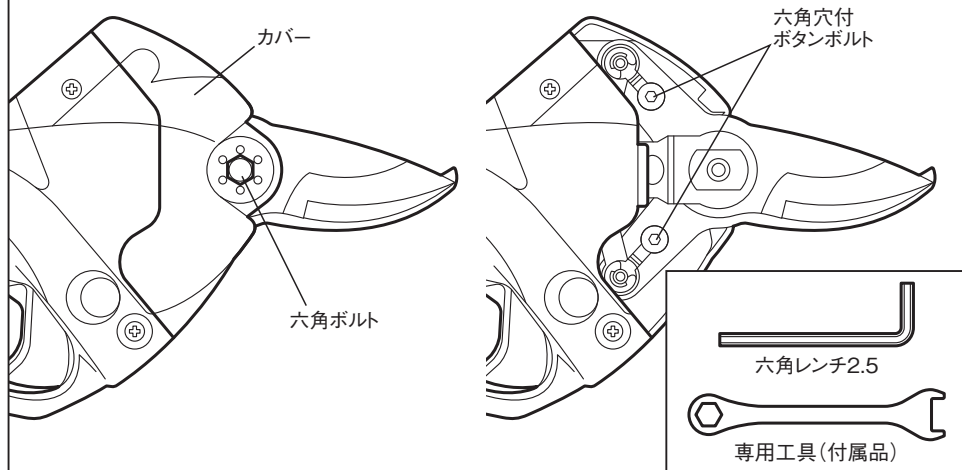
【はさみ本体のランプ】

	通電（緑色）	電源が来っていない（消灯）
ランプの状態 ●：点灯 ◐：点滅 ○：消灯		

⚠ 警告

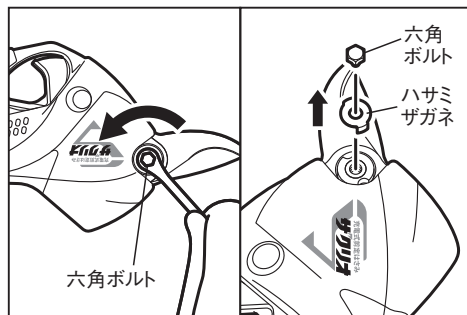
- 刃の交換の際は、刃を閉じた状態で必ずコントロールボックスの電源スイッチを切り、接続ケーブルをコントロールボックス・本体ともに外す。
- 刃を開いたままカバーを開けてしまった場合は、必ずカバーを閉じ、最初からやり直す。
- カバーを外した状態で機械を動かさない。
- 刃の交換の際は、必ず手袋をはめて作業する。
- 安定した作業台の上で作業する。

【ハサミ軸周りの構造】

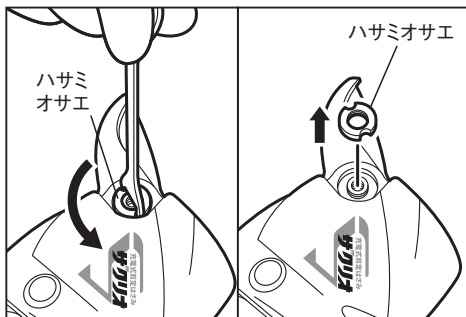


1) 刃の取り外し方

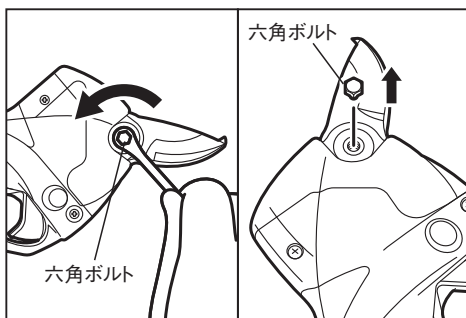
- 1) 下刃が上になるように作業台の上に置き、付属の専用工具でボルトを緩めボルトとハサミザガネを取り外す。



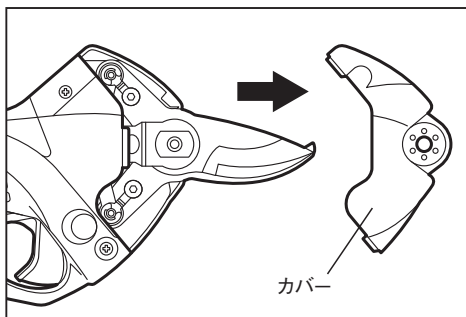
- ②ハサミオサエを矢印方向に専用工具で回し、ハサミオサエを取り外す。



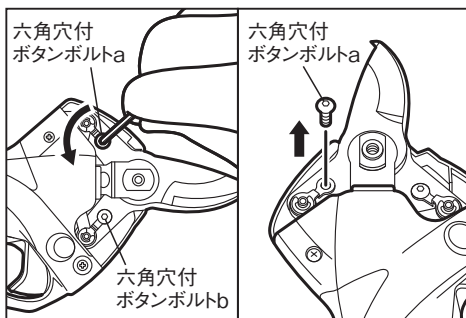
- ③本体を裏返し、ボルトを緩め、ボルトを取り外す。



- ④カバーを外す。



- ⑤上刃を交換する時は六角穴付ボタンボルト a を、下刃を交換する時は六角穴付ボタンボルト b を付属の六角レンチ 2.5 で外す。

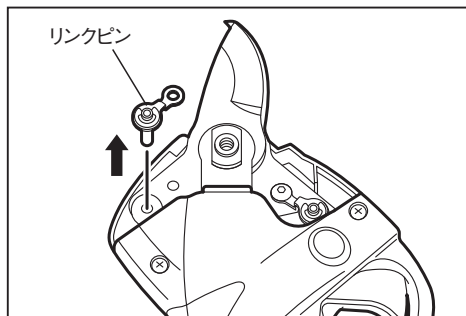


⚠ 警告

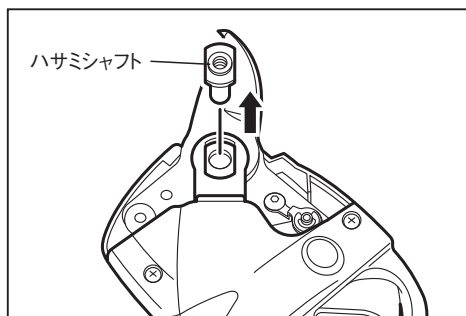
- ハサミシャフトを先に外さない。

先にハサミシャフトを外してしまうと、六角穴付ボタンボルトを回す時に刃が回転して危険です。

⑥リンクピンを抜く。



⑦ハサミシャフトを外す。

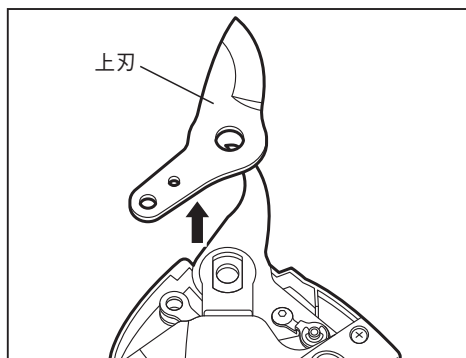


⑧刃を抜いて交換する。

⚠ 警告

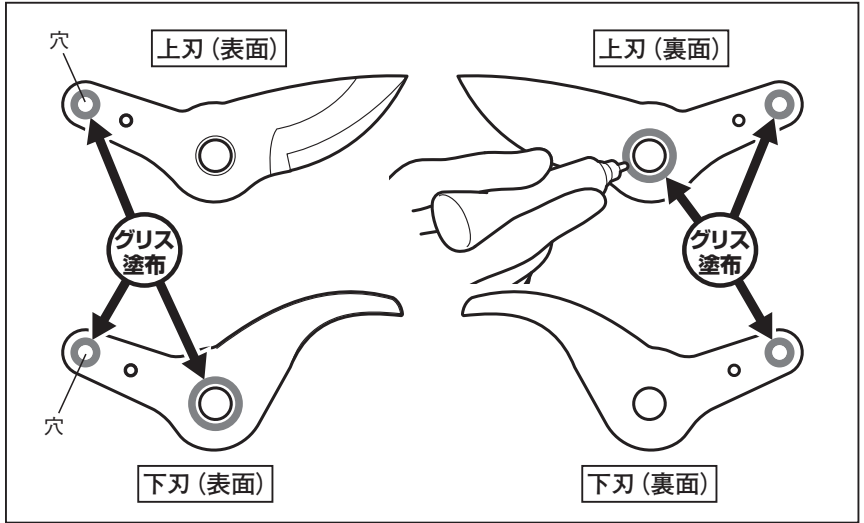
●必ず手袋をはめて作業する。

上刃に素手で触れると裂傷の可能性
があります。

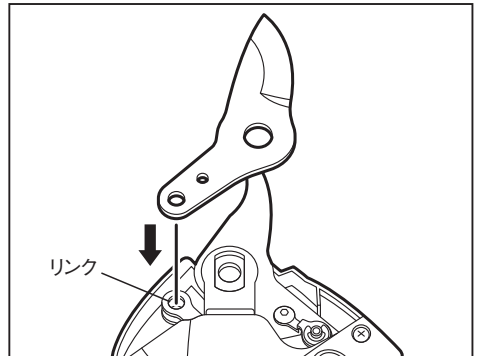


2) 刃の取り付け方

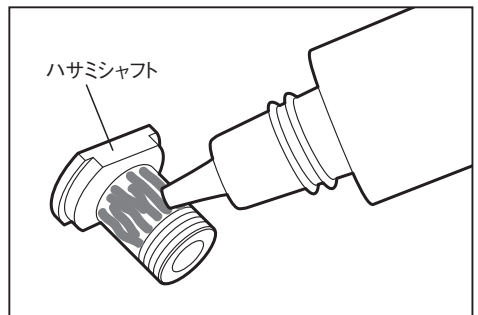
①上刃・下刃に付属のグリスを塗布する。



②リンクと刃の穴を合わせる。

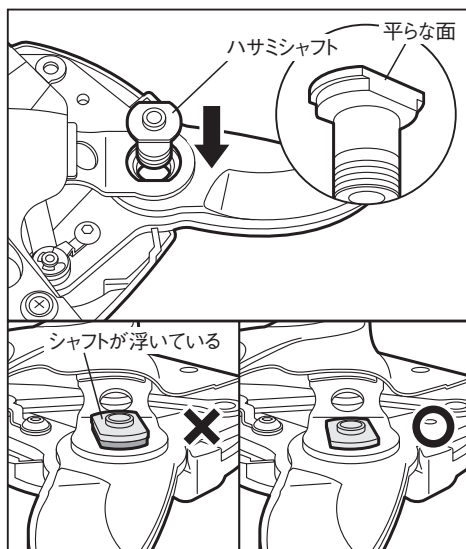


③ハサミシャフト軸全周に、替刃に付属のグリスを塗布する

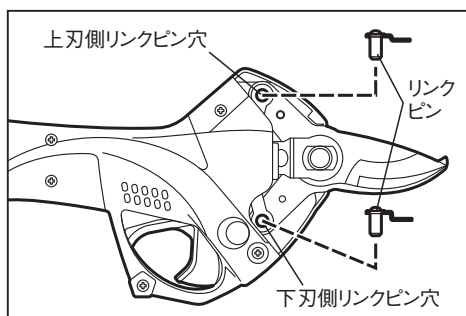


- ④ハサミシャフトを軸穴に差し込む。ハサミシャフトの平らな面と穴が合うような向きで差し込む。

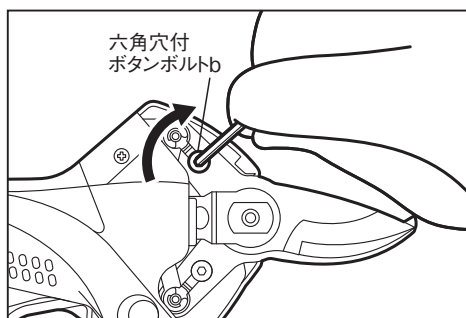
※シャフトが入りづらい時は下刃を上下左右に揺らしてください。



- ⑤リンクピンを穴に差し込み、リンクピンの穴とボルト用の刃の穴を合わせる

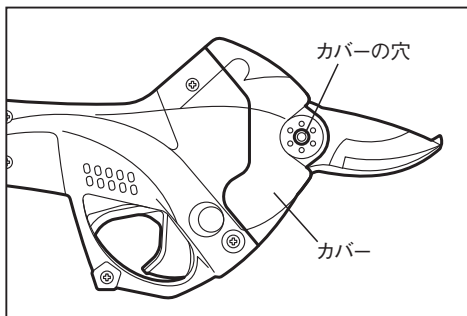


- ⑥ハサミシャフトが差し込まれている事を確認してから、六角穴付ボタンボルトを締める。

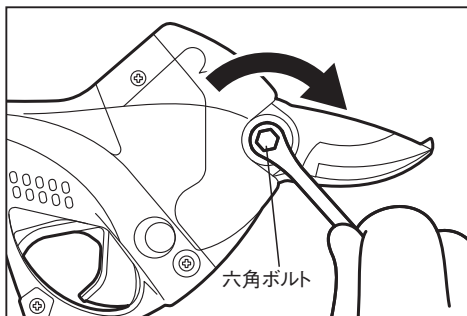


⑦カバーを取り付ける。

※組みつけの時、カバーをはめる時、カバーの穴に、ハサミシャフトの凸部がしっかりとハマっているかどうか確認してください。しっかりとハマっていない状態で無理に締め込むと、カバー破損の原因になります。

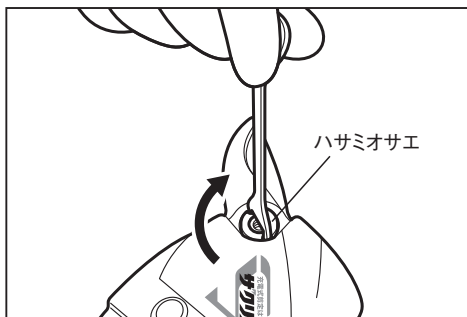


⑧ボルトを締める。



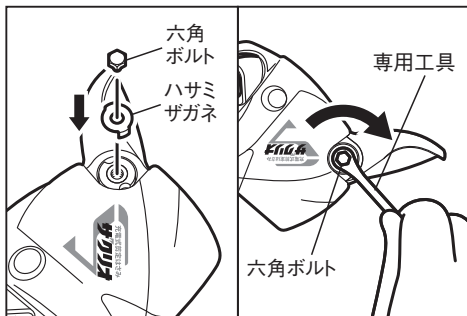
⑨本体を裏返して、ハサミオサエを矢印方向に専用工具で回し、ハサミオサエを締める。

※工具で回らなくなるところまでしっかり締めてください。



⑩ハサミザガネを取り付け、必ず専用工具を使ってボルトを締める。

以上の工程が終わったら、本体をコントロールボックスに接続し、動作の確認を行ってください。上刃、下刃が正常に作動すれば、交換作業終了です。正常に作動しない場合は、刃の交換方法 (P35) の手順に従い、再度刃を外して取り付け直してください。



それでも正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店またはマックスエンジニアリングサービス(株)へ点検・修理に出してください。

9 性能を維持するために

⚠ 警告

- 点検・整備の際は、必ずコントロールボックスの電源スイッチを切り、本体から接続ケーブルを外す。

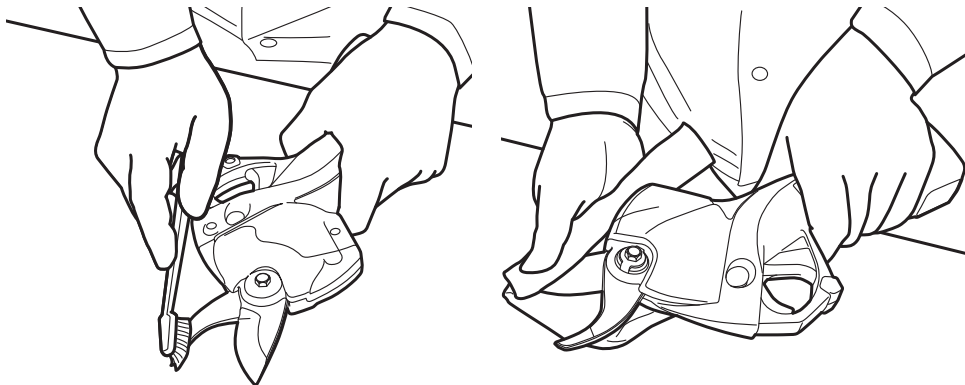
接続ケーブルを本体につないだまま行くと、思わぬ事故の原因になります。

①刃の手入れの仕方

⚠ 警告

- 作業の前後には刃の点検をする。
- 刃の手入れの際は、厚手の手袋をはめて作業する。

作業後は硬いブラシで刃の両面の汚れを落とし、ぬれた布で拭き取ってから保管する。
刃の手入れを怠ると、刃物の摩擦が大きくなり、1回の充電での使用時間が短くなります。
また、刃の寿命も短くします。



②刃の研ぎ方

⚠ 警告

- 付属の砥石など、柄のついた研磨具を使用する。

紙やすりを使用すると、ケガの恐れがあります。

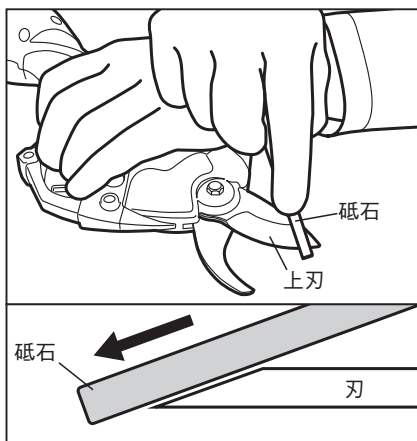
- 刃が欠けている場合は、新しい刃に交換してください。

欠けた刃で使用を続けると、刃の破損や飛散による失明など重大なケガを招く恐れがあります。

〈上刃のとき方〉

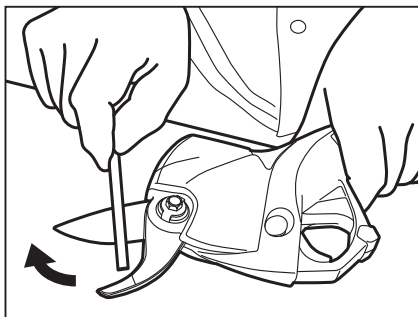
1.表側のとき方

砥石の平面側を刃先の角度に合わせ、矢印の方向に押し付けて刃先全体を研いでください。砥石を水に浸してから使用すると研ぎやすくなります。



2.裏側のとき方

砥石を軽く当てて矢印の方向に動かし、表側を研いできたカエリ部分を取り除いて仕上げてください。



⚠ 注意

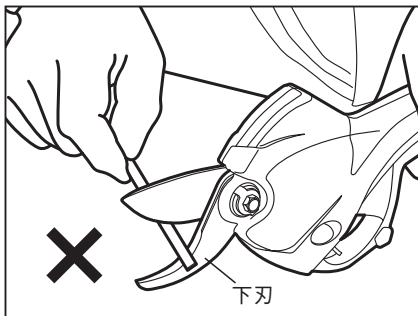
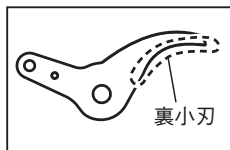
- 刃の裏側は研ぎすぎないでください。

うす皮残りの原因となります。

⚠ 注意

- 下刃は研がないでください。

※ただし、下刃の裏小刃に出っ張りや盛り上がり部分がある場合は砥石で取り除いてください。



③長期間使用しないときの注意

長期間使用しない場合は、電池パックをコントロールボックスからはずし、電池パックを満充電した後、電池パックにパックキャップをつけて、高温にならない乾燥した場所に保管してください。

電池パックは使用していなくても微量ですが自己放電しています。電池残量が少ないまま長期間使用しないと、電池が使いなくなってしまいます。

長期間使用しない場合でも、6ヶ月に一度程度充電してください。

④本機の改造・加工を絶対に行わない

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

⑤定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。

10 保証、アフターサービスについて

【保証について】

- 本機には保証書がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
※ 電池パック、刃は消耗品のため保証対象外です。

【アフターサービスについて】

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。
必ずご購入求めの販売店またはマックスエンジニアリングサービス(株)までご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがの恐れがあります。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。
- 本機を修理に出して頂く際は、必ずはさみ本体だけでなく、コントロールボックス・電池パック・ケーブルもセットでお出しください。

【はさみの替刃について】

- 本機の替刃は、ご購入求めの販売店でご購入いただけます。
- ご購入の際は、下記の商品名を販売店にお伝えください。

〈マックス充電式剪定はさみ用替刃〉

	品番	商品名
上刃	PA90027	PA300シリーズ-ウエバ
下刃	PA90028	PA300シリーズ-シタバ

【オプション部品】

刃先が厚いので、薄皮残りしにくくなります。

ダンツキウエバキット (301)

¥6,000 + 税

部品コード：PA70190



もっと長いケーブルで作業したい方に。
(付属のケーブルは1.5mです。)

3m ケーブルユニット (301)

¥23,000 + 税

部品コード：PA70192



操作早見表

注)LEDの表示はバッテリーが満充電の場合です。

電源スイッチをONにする。

ブザーが「ピッ」と鳴ります。
はさみ本体は動作しません。
(スタンバイ状態です。)

はさみ本体LED

緑 点灯



コントロールボックスLED

緑 点灯



トリガを引いた状態で、本体スイッチを押す。

ブザーが「ピッ」と鳴ります。

はさみ本体LED

緑 点灯



コントロールボックスLED

緑 点灯



はさみ本体LEDが
緑点灯時
「細枝モード」⇔
「太枝モード」
切り換えが可能
※P29～30参照

※トリガロックレバーをかけていた
場合は、トリガを引いた状態で、
ロックを解除して、トリガを離すと刃が開きます。

トリガを引く/離す。

トリガに連動して、刃が動きます。
トリガを引くと刃が閉じ、
トリガを離すと刃が開きます。

はさみ本体LED

緑 点灯



コントロールボックスLED

緑 点灯



5分間、トリガ操作をしない。

ブザーが「ピー」と鳴ります。
その後、トリガを引いても、
刃は動きません。
(スタンバイ状態に戻ります。)

はさみ本体LED

緑 点灯



コントロールボックスLED

緑 点灯



作業を再開する

60分間、トリガ操作をしない。

ブザーが「ピー」と鳴ります。
その後、トリガを引いても、
刃は動きません。
(電源が切れた状態になります。)

はさみ本体LED

消灯



コントロールボックスLED

消灯



電源スイッチを
一度OFFする。

作業を再開する

●マックスお客様ご相談ダイヤル

0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

マックス株式会社

●販売拠点等

本	社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札幌	支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙台	支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 236-4121
東京	支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
群馬	営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
名古屋	支店	〒462-0819	愛知県名古屋北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
大阪	支店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6444-2031
広島	支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福岡	支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
四国	営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札幌	サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台	サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 237-0778
高崎	サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉	サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋	サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
大阪	サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6446-0815
広島	サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡	サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4102142
190408-00/00



便利メモ

お名前	商品名	PA-SJ301		
お買い上げ日	年	月	日	製造番号
販売店名	☎			